

学校図書館だより 11月

足立区立入谷南中学校
令和6年度 2024 11月
発行人 館長 校長 遠藤 映悟
学校司書 牛込 有紀子



『秋は読書??』

2024年度 後期の中間考査が終了し、3年生は進路に向けて一層力を入れはじめ、2年生は最上級生になる心構えが増し、1年生は南中生として中学生になった自覚がはっきりしてきた頃でしょうか？

前々回よりお便りでお伝えしているように、今年度は南中図書館からの貸出冊数がかなり伸び悩んでいます。しかし、先日、ちらっと1、2年生の教室の朝読書時間をのぞかせてもらったときに、みなさんが前を向いて座席に着き、本を開いて読んでいることを実際に見学できてうれしかったです♪

どうすれば今年度の図書委員さんが目標とした **6,000冊** に届くのか。

図書館を日頃から利用している生徒さんの何人かは、「毎日借りに来る」「どんな本があるのか見に来る」と目標達成に協力的です！（図書館前廊下の掲示に**クラスごとの貸出冊数**を掲示していますので、ぜひご覧ください）

図書委員さんもみなさんがもっと本に興味を持ってもらえるよう、毎月**クラス用の本**を交換したり、「**読書カード**」の管理や図書館にある本で**<本紹介>**を行ったりして、みなさんへ本の魅力を伝えていきます。

何度も伝えますが、南中の生徒1人1人が1冊、図書館の本を定期的に読んでくれることで目標に近づくことができます。定期的に来館している生徒だけではなく、「久しぶりに図書館の本を借りてみよう！」と行動してくれるとうれしいです♪

ところで、なぜ『秋は読書??』なのか、調べてみました。すると 『中国の唐時代の詩人
韓愈かんゆの漢詩に「燈火とうか稍ようやく親べしむ可く」という一節があり、ここから秋が読書に
ふさわしい季節として、「秋燈」や「燈火親しむ」といった表現が使われるように
なった。これが「読書の秋」の由来のひとつと思われる。（レファレンス協同データベース。

『「読書の秋」とよく言われるが、その由来について知りたい。』https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000112345 .2024/11/6. より引用)

とのことでした。 秋の夜長に、一冊でも多くの本を読んでみませんか？

学校司書 牛込



《 図書館からのお知らせ 》

< 11月の特集コーナー >

「図書委員がおすすめする本」

後期の図書委員さんの <本紹介> は聞いてくれましたか？発表した本は、次の <本紹介> まで図書館で展示しています。
気になった本は、是非手に取って見てくださいね！

「新着本」

第2回リクエスト本 希望調査前に発注した本が、すべて納品されました。
購入を希望してもらった本は、リクエスト生徒に優先して貸出していますが、まだ借りていない生徒はいませんか？ また、購入した本、購入できなかった本は図書館前廊下で掲示していますのでご確認ください。

< 参加者を募集しています >

入谷南中学校図書館にある本を <POP> にして紹介しませんか？

用紙や様式など、規定を詳しくお伝えします。参加してくださいね♪

☆ 作品は、図書館前や図書館内で掲示します ☆

おすすめ!



返却日を伝える **しおり** の <イラスト>

返却期限日をお知らせするために、貸出のときにしおりを挟んでいます。

今、配っている しおり はすべて南中生が、描いてくれたものです。規定のA4サイズの用紙に複数の オリジナル<イラスト> を描いてみませんか？

詳しくは学校図書館に問い合わせください！

< 新聞 見ていますか？ >

NEWS 悲報

朗報 速報

各学年フロア（階段そばの広場）のラックに、

新聞 が約1週間分 掛かっています。新聞 が発行された日の朝、学年の図書委員さんが朝刊をラックに掛けています。

休み時間など時間を見つけて 紙面 を見てください。

今、国内や海外でどんなことが起きているのか、スポーツに関連する記事や受験に関連する事柄も記事になっているので、いろいろな情報を得るように、関心をもってくださいね。

学年ごとに 毎月 新聞社 が変わります。見出しや注目する 話題の違いを比べてみてはいかがでしょうか。

